

厚生労働行政推進調査事業費補助金（肝炎等克服政策研究事業）

分担研究報告書

肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業の普及・活用の促進に向けた研究

江口 有一郎 佐賀大学医学部附属病院 肝疾患センター 客員研究員  
(研究協力者)

磯田 広史 佐賀大学医学部附属病院 肝疾患センター 助教

矢田 ともみ 佐賀大学医学部附属病院 肝疾患センター 客員研究員

井上 香 佐賀大学医学部附属病院 肝臓糖尿病内分泌内科 助教

今泉 龍之介 佐賀大学医学部附属病院 肝疾患センター 相談員

高橋 宏和 佐賀大学医学部附属病院 肝疾患センター 特任教授

佐賀県がん撲滅特別対策室

平成 30 年度より我が国では新たに肝炎ウイルスによる肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業が創設されたが、利用者数は佐賀県を含めて全国的に伸び悩んでいた。本研究では制度の認知度向上および利活用の促進を目的とした研究を実施している。令和 3 年度は、前年度に作成した本制度や改正点を案内する動画コンテンツを、41 都道府県から要望をうけて個別に修正して配布した。令和 3 年度の制度改正や、制度の周知が進むことにより制度の利用者が増加したが、新たに制度申請のための手続きの難しさや、医療記録票の運用における課題が明らかとなった。これらを改善するために、県・拠点病院・肝疾患センターで協働して佐賀県版医療記録票（手帳版）を作成し、全国展開を念頭に佐賀県内で試験運用を開始した。

#### A. 研究目的

平成 30 年度より我が国では新たに肝炎ウイルスによる肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業が創設されたが、利用者数は佐賀県を含めて全国的に伸び悩んでいる。本研究では制度の認知度向上および利活用の促進を目的として研究を実施している。令和 2 年度からは、新型コロナウイルスが全国的に蔓延したこともあり、この様な感染症が流行している状況でも本制度に関する案内を行いやすくし、制度の認知率・利用率を向上できるような仕組みについて検討を開始した。令和 2 年度には本事業を周知するための案内動画を作成し、さらに令和 3 年度からの制度改正点を重点的に説明した動画

も作成した。令和 3 年度にはこの動画コンテンツを希望する都道府県毎のバージョンに修正して各自治体に配布した。また、制度の利活用が進む中で、新たに制度申請のための手続きの難しさや、医療記録票の運用における課題が明らかとなったため、これらを改善するために、県・拠点病院・肝疾患センターで協働して佐賀県版医療記録票（手帳版）を作成した。

令和 4 年度から全国展開を念頭に佐賀県内で試験運用を開始した。

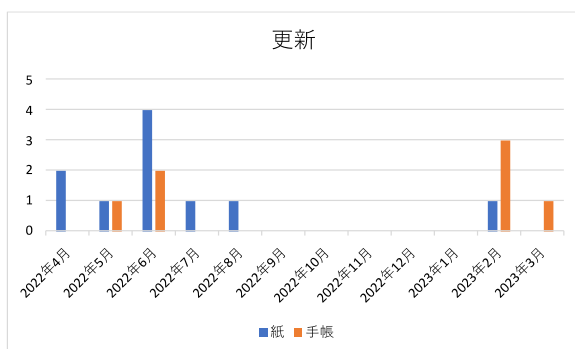
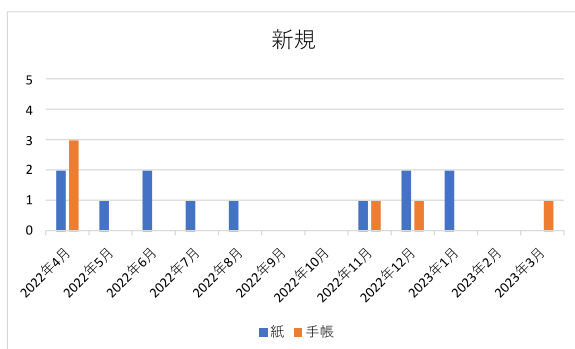
#### B. 研究方法

令和 4 年 3 月中に佐賀県内の全指定医療機関および各保健福祉事務所に佐賀県版医療記録

票（手帳版）を配置し、運用を開始した。令和4年4月から令和5年3月までの肝がん重度肝硬変治療研究促進事業の参加者証の新規交付申請および更新申請において、提出された医療記録票の内訳（①新規に作成した手帳版、②従来の紙用紙）について調査した。また、医療費助成の支給の際に利用された医療記録票については、助成申請のタイミングが個人によってばらつきがあるため、個人単位での集計とした。

### C. 研究結果

新規申請で提出された医療記録票は、手帳版が6件、紙用紙が12件であった。更新申請では、手帳版が7件、紙が10件であった。月別の申請状況を図1（新規申請）、図2（更新申請）に示す。



医療費支払い申請の際に提出された医療記録票は従来の紙用紙が12件と多く、手帳版は2件であった。

### D. 考察

令和4年4月の参加者証の新規申請に手帳版の医療記録票を利用した医療機関は佐賀大学病院のみであったが、5月の更新申請、6月の

更新申請、11月の新規申請、2023年3月の新規申請には佐賀大学以外の病院からも手帳版医療記録票が提出されていた。

すでに紙用紙の医療記録票を作成し運用していた患者では、途中からノート版に切り替える新規発行の作業やこれまでの記録を転記する作業が必要になるため、ほとんどの患者がそのまま紙用紙の医療記録票を続けて利用していた。指定医療機関の医師へのヒアリングでは、徐々に手帳版の使用が広がっていることから、今後は新規交付申請あるいは更新申請で手帳版の医療記録票を提出する患者がさらに増えてくるものと予想された。

指定医療機関の医療事務や看護師等（一部は肝炎医療コーディネーター）、制度を利用している患者、また佐賀県に対して医療記録票が紙用紙から手帳版になったことへの感想について調査すると、メリットとしては

- 1) サイズがA4からB6手帳サイズ（見開きでB5）になり持ち運びがしやすくなった。
- 2) 氏名・性別・住所・保険種別・保険者番号・被保険者証の記号・番号、A欄の高額療養費算定基準額、B欄の高額該当状況等を記載する手間が1回で済む様になり負担が軽減した。
- 3) 持参忘れや紛失が減った。

ことが挙げられた。

デメリットとしては、記入欄がやや小さいとの声があり、手帳版を増刷する際に一部修正して対応したが、それ以外には特段の問題は指摘されなかった。

### E. 結論

佐賀県版医療記録票（手帳版）の運用を開始し、比較的速やかに指定医療機関での活用が広がっていた。当初の目的通り効果が発揮されており、一方で特段の不都合は生じていなかったため、全国的に活用されることが期待される。

### F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

- 1) 論文発表：なし
- 2) 学会発表：なし

H. 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む)

- 1) 特許取得：なし
- 2) 実用新案登録：なし
- 3) その他：なし